

関東・東海・近畿 官庁団体役員 上場企業役員会 寅年会 昭和13年



大阪経済倶楽部
会長 濱田 守久(高知)



通商産業大臣
与謝野 馨(東京)

日本経済の 再生に向けて

新年明けましておめでと
うございます。
昨年七月の小渕内閣発
足時に経済を担当する通商
産業大臣に就任いたしまし
た。今年から二、三年に
わたる中期的な経済運営を
しっかりと進めていくこと
がこれからの日本経済の発
展に必要なことだと思いを
もって経済政策を進めてい
きたいと考えております。
我が国経済の現状は極め
て厳しく、戦後初めての二
年連続マイナス成長が避け
られない状況であります。
景気動向がおかしいと言わ
れるようになった平成九年
の秋以降政府は種々の対策
を講じ、昨年四月には事業
規模が十六兆円を超える総
合経済対策をとりまとめま
した。しかしながら、この
対策の効果もその後の事態
の推移によって打ち消され
てしまいました。
小渕内閣は経済再生内閣
として、一刻も早くこの経
済危機を克服することを最
大の使命として発足してお
り、日本経済を一両年のう
ちに回復軌道に乗せる第一
歩として昨年十一月に二十
兆円を大きく上回る規模の
緊急経済対策をとりまとめ
ました。経済対策を議論し
ていく中で通産省は、日本
経済に明るい展望を開くた
めには、十一年度は一%以
上の成長が必要であるとし、
さらに十二年度は回復軌道
に乗せ、十三年度以降巡航
速度を実現していくといっ
た複数年にわたる経済再生
の道筋を描くことが必要で
あることを主張してまいし
た。そのような議論の成
果を反映した経済対策にな
ったと考えております。
政府では補正予算で必要
な予算の手当てを行うなど
対策を実施に移すための施
策を講じているところであ
り、これからはこうした政
府の取り組みを受けた企業
の経営者や国民の方々の設
備投資や消費が実際に経済
を回復させていくことを期
待しております。
最後になりましたが、各
界の第一線におられる寅年
会の会員各位のますますの
ご活躍をお祈りいたします。

新年あけましておめでと
うございます。
私は、人と人の不思議
な出会いについて、いつも
感謝し、いつまでも良き友
として交際していただいま
すよう、努力しております。
吉永先生とは、大阪高等
検察庁検事長の頃、元広島
地方検察庁検事正親崎定雄
様(現日本橋公証役場公証
人)のご紹介にてお会いさ
せていただきました。その
とき吉永検事長は親崎先生
との関係について一言も聞
かず心より私を迎えて下さ
いました。
私はそのとき六十才の年
を迎える頃までには、友を
紹介させて頂くときは親崎
先生のように責任を持った
紹介が出来る人間になりた
いものをつくづく思いまし
た。しかし、現実はまだま
だ遠くおぼびません。いか
に人を紹介することが難し
いか、今も思い知らされて
おります。その後、吉永先
生は東京高等検察庁検事長
に栄転され、検察庁の最高
峰最高検察庁検事総長に栄
進され、かずかずの功績を
残され退官されました。
先生の功績は、あまりに
も大きく昭和、平成の歴史
の中でいつまでも語りつづ
けられることと思います。
今も検事総長の頃と同様、
あの鋭い眼光はドキリとす
るきびしさを感じます。い
つまでもご健康で活躍を
願っております。
検察庁OBの方々ではど
くに、元札幌高等検察庁検
事長 佐藤道夫様(現参議
院議員)、元福岡高等検察庁
検事長 栗田啓二様、元広
島高等検察庁検事長 緒方
重威様と親しく交際してい
ただいています。ことから、
いつも身辺には特に注意し
て行動しております。昭和
十三年寅年会も結成以来十
一年目を迎え、新たな気
持ちのもと、新年を迎える
ことが出来ます。
平成元年以上場企業役員九
七〇名、平成九年三千五百
名、平成十年二千二百十六
名、全国あらゆる場所にて
このきびしい経済環境の中、
頑張っておられます関東・
東海・近畿の各寅年会も年
六回の例会も一度として休
む事なくつづけられ、また、
全国大会も平成五年以降毎
年一回開催、素晴らしい友
人に恵まれ、これ以上の幸
せはありません。
今回も北海道より沖縄ま
で知事・市長(衛星都市含
ます)、官庁・団体役員・上
場企業役員その他の分野で
ご活躍の五千名に発送しま
した。
この年一回の新聞が昭和
十三年寅年会の方々に心の
かけ橋になります。心より
心より念じております。
今回も大変ご多忙の中、
ご寄稿下さいました方々に
深くお礼申し上げます。

元最高検察庁検事総長 吉永祐介様との出会い

私たちは常に誇りと自信をもって仕事に取り組んでいます。

総合建設コンサルタント業

株式会社 ARCHI

代表取締役社長 作山利之

本社 〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目1番6号 堀筋本町センタービル6階
電話 06(6263)4571(代表) FAX 06(6263)4574 <http://www.archi-group.co.jp/>

謹賀新年

本社	電話06(6263)4571(代)
関東支部	電話03(3355)0314(代)
北海道支部	電話011(709)8711(代)
東日本支部	電話022(265)1692(代)
北陸支部	電話025(247)6072(代)
西日本支部	電話082(247)0230(代)
九州支部	電話092(481)3110(代)
青森支所	電話0177(77)0914(代)
長野支所	電話0267(82)0914(代)
松江支所	電話0852(22)2424(代)
熊本支所	電話096(372)0372(代)
長崎支所	電話095(829)2902(代)

大阪弁と タイガース



芝浦メカトロニクス株式会社
社長 角 忠夫 (東京)

大学を卒業してから既に四十年近くも東京で生活しているにもかかわらず、大阪生まれとして大事に保存しているものが二つある。一つは大阪弁、今一つは五十年來の「虎キチ」である。二十年以上も昔のことだが、設計課長時代に南アフリカ・ヨハネスブルグまで、鉄鋼圧延プラントのコンピュータシステム応札に出掛けたことがあった。客先で難しいソフトウェアの話を

「虎キチ」の方は小学生時代に疎開先の金剛山の山麓から小遣いをためて年一回甲子園まで通っていた頃である。戦後のひもじい生活からは、グラウンドで見るタイガースの勇姿は夢の縁であった。「一番センター、二番レフト金田、三番ライト別当、四番サード藤村、五番キャッチャー土井垣」等のラインアップは今も頭に深く刻み込まれている。東京でのマイノリティーの世界で頑なに孤高を守り続けているのに、近年の阪神は一体どうなっているかである。勝った時の阪神は誠に素晴らしい試合をするのに比し、実に簡単に連敗

新年に当たり、投稿の機会を与えて頂いた事に御礼申し上げますと共に、皆々様に新年のご挨拶を申し上げます。人生の節目とも言える昨年の寅年六十歳に当たって、いったい自分はこうして今のようになんて仕事をやっているのか、振り返って見ま

科を卒業した訳ですが、現在には似ても似つかぬ超成熟産業に属するプラントビジネスに従事して居ります。今考えると、大学時代にロシア語を学んだ事が遠因のようです。東洋史専攻を前提として教養学部時代の第二外国語は中国語を選びましたが、全く物にならず、東洋史学科に進んでからも中国語に親しめず、道を間違えたかなんと言った感じが拭えませんでした。そんな中で、四年生の初めに卒業論文のテーマを決めなければならぬ事になりました。元々中国の西端中央アジアに興味を持って居りましたが、中国語が弱くては卒業論文を書ける筈もなく途方に暮れる日々を過ごして居りました。苦しい紛れの選択は、中央アジアでもソ連に属する西中央アジアの近代史でした。専門の教授も居らず、ひょっとするとお目こぼしでパスするかもしれないと思慮を働かせた訳です。それにロシア語修得が必須と考

です。一年間留年の結果、ともかく卒業は完成し、卒業できる事になった訳ですが、その頃になると、逆に学問を続けるのも悪くないかなと言ふ気になりかけ、教授に相談しましたら、仕事に嫌になったら、大学院に戻れば良いではないかと諭され、就職する事にしました。当時文学部の卒業ではジャーナリスト以外ではろくな就職先もなく、ロシア語、中国語ができるなら共産圏貿易をやっている会社に勤めてみてはどうという友人の薦めで、三菱商事の共産圏貿易専門商社であった明和産業に入社しました。入社三年目にモスクワ駐在員となり、モスクワで大学時代にご心配をおかけした先生にお目にかかった処、大学より実社会の方が余程向いて居るではないかと明らかわれ、以後サラリーマン生活を現在まで続ける事になってしまいました。

五年前、三菱商事の化学プラント部長を引退した際には、いよいよ、趣味の東洋史でも始めるかなと言ふ心境になりましたが、現役を引退するには早すぎる、贅沢だと周囲から批判を浴び、現職に就いて居る訳です。この不況に当たり、全くついていないなどと時々正直な悩みが頭をよぎりますが、所詮東洋史は趣味以上の物である訳がなく、残された会社生活を全うし、その後、今度は本当に「趣味の東洋史」をやろうなどと考へて居ります。

ポスト還暦



東京海上火災保険株式会社
副社長 儀山 隆夫 (東京)

寅年会の皆様と同様、私の場合は昨年九月に無事還暦を迎えました。今まで腰痛はありましたが、盲腸以外の入院もなく元気に節目を迎えられたことに感謝しています。しかし、わずか百年前の第一回生命表の男子平均寿命が四十二・八才という短さもこれ自体驚きですが、この時代ならとも

かく、今は街に出てても元氣な先輩が大勢おられてなかなか実感も沸きません。六十才になっても年金の通知がくるわけでもなく、環境の変化もないのであまり意識もありませんでした。が、十月十七日にナント、かの長銀から『六十才からの特別定期・金利一物上乘せ』のハガキが届きました。

特別公的管管理が決まる一週間前の話ですから正直のところ驚き、また腹も立ちました。でも長生きにはあまり怒らない方が良いでしょう。ところで、これからは趣味が大事になりそうですが、私の場合は『登山』、写真、ゴルフで、役員四季報にも掲載されています。中学時代から山が好きになり、学校の先輩が始めた山岳会に加わってだんだん高い山に登るようになり、そこで写真を撮りだしたという順番ですが、特に単身赴任のときにはカメラが話し相手となり、最近では旅行や出張先でたくさん写すようになりました。大学の山岳部は家庭の事情でやむなく中退しましたが、活動を続けた友人が何人も人生

退してしまっただのは皮肉なことでしたし、入社後も休暇がなくなると引き返したお陰で命を取り留めたこともありました。なお、ゴルフは東海寅年会時代の最後のハンデ18がピークという低レベルなので最後に書くようにしています。その登山について、先日ある雑誌社から最近登った山について取材の依頼を受けました。事情をお話しお断りしました。時間の制約もあってなかなか山らしい山に近づけず、最近では精々山の利を活かして玄關から山頂まで丁度二時間で往ける、高尾山の周辺を歩いて日頃の運動不足の解消に努めているのが実態です。本来ならハイキングと書くのが適当です。それ

でも登山として居るのは、定年になり余裕ができたらまた登りたい、若い時に登った山を最も素晴らしい季節に再度訪れて見たい、そういう思いがあるからです。ずっと思い続けてなかなか暇にさせて貰えず自由が利きませんが、この思いがいわば私の青春なのです。やはりこれからは知力以上に体力と気力が大事になると思っています。足から老化することのないよう心掛ける所存です。

趣味の東洋史



三菱化工機株式会社
常務取締役 草島 次郎 (神奈川)

人生の節目とも言える昨年の寅年六十歳に当たって、いったい自分はこうして今のようになんて仕事をやっているのか、振り返って見ま

科を卒業した訳ですが、現在には似ても似つかぬ超成熟産業に属するプラントビジネスに従事して居ります。今考えると、大学時代にロシア語を学んだ事が遠因のようです。東洋史専攻を前提として教養学部時代の第二外国語は中国語を選びましたが、全く物にならず、東洋史学科に進んでからも中国語に親しめず、道を間違えたかなんと言った感じが拭えませんでした。そんな中で、四年生の初めに卒業論文のテーマを決めなければならぬ事になりました。元々中国の西端中央アジアに興味を持って居りましたが、中国語が弱くては卒業論文を書ける筈もなく途方に暮れる日々を過ごして居りました。苦しい紛れの選択は、中央アジアでもソ連に属する西中央アジアの近代史でした。専門の教授も居らず、ひょっとするとお目こぼしでパスするかもしれないと思慮を働かせた訳です。それにロシア語修得が必須と考

です。一年間留年の結果、ともかく卒業は完成し、卒業できる事になった訳ですが、その頃になると、逆に学問を続けるのも悪くないかなと言ふ気になりかけ、教授に相談しましたら、仕事に嫌になったら、大学院に戻れば良いではないかと諭され、就職する事にしました。当時文学部の卒業ではジャーナリスト以外ではろくな就職先もなく、ロシア語、中国語ができるなら共産圏貿易をやっている会社に勤めてみてはどうという友人の薦めで、三菱商事の共産圏貿易専門商社であった明和産業に入社しました。入社三年目にモスクワ駐在員となり、モスクワで大学時代にご心配をおかけした先生にお目にかかった処、大学より実社会の方が余程向いて居るではないかと明らかわれ、以後サラリーマン生活を現在まで続ける事になってしまいました。

五年前、三菱商事の化学プラント部長を引退した際には、いよいよ、趣味の東洋史でも始めるかなと言ふ心境になりましたが、現役を引退するには早すぎる、贅沢だと周囲から批判を浴び、現職に就いて居る訳です。この不況に当たり、全くついていないなどと時々正直な悩みが頭をよぎりますが、所詮東洋史は趣味以上の物である訳がなく、残された会社生活を全うし、その後、今度は本当に「趣味の東洋史」をやろうなどと考へて居ります。

謹賀新年 平成11年元旦

大願グループは 旋回流動床焼却炉、リンデマンRO-25破碎プラントを完成させ「ゼロ・エミッション」へ向け確実に進んでいます。

Zero Emission **へGO!**

大願グループ 松川明司

〒581-0813 大阪府八尾市泉町一丁目一三七番一号
電話(072)941-1111(代)

社是
今日生かされている
自分に感謝の心もち
我に悔いのない
粹に感じる
人生を創ろう



北海道深川市長 河野 順吉 (北海道)

寅年雑感

輝かしい平成十一年の新春を迎え、心からお慶び申し上げます。

昨年はバブル経済崩壊後の長引く景気の低迷により、とりわけ北海道においては深刻な景気停滞による求人倍率の低下が続いており、一日も早い景気回復を願うとともに、活力ある北海道を取り戻したいものです。

今年こそ寅年会の皆様にとりましても最良の年になりますように一願いたします。

深川市は北海道のほぼ中央部、母なる川、石狩川が流れる肥沃な石狩平野の北端に位置し、河川沿いの平地と緩傾斜地に市街地が形成され、人口二万八千人です。

冬季は積雪寒冷で雪は道内でも多い方に属するものの、夏季は温暖でしずかです。今日全道一と言っても過言ではない、農業基盤が確立し、良質・良食味米主産地としてゆるぎない地位を築いております。

昨年暮れに、道内市で初めて、道産米の消費拡大と地場産米の正しい評価を頂くため、「深川産ほしゆめ」の新米の生産者を除く、全市民に無料配付を行い食べていただきました。

全国の寅年会の皆様にも北海道産米の「ほしゆめ」を是非ご賞味頂きたいと思います。

さて、私は、深川市内の山間地帯で生を受け、両親が公職にあり、極めて多忙な家庭で育ちました。

水田、畑、山林、果樹さらに家畜の世話など休むことのできない複合農業経営で幼少の頃から、人手不足の我家では可能な限り家族の手伝いは当然でありました。

義務教育を終えて定時制高校に入学し、働きながらの勉学は、私の青春時代の貴重な経験であり、級友の中には、むしろ私以上に恵まれない人が大勢いることに気が付き、学べることに幸せを感じなければと自分に言い聞かせていたものです。

当時の通学路は砂利道であり、二十数キロの通学は雨の日や風の日などは楽しいものでなく、苦痛の毎日でしたが、今思えば良き体力づくりであったと、現在の丈夫な体に感謝する昨今です。

大学へ進学できなかった私は、高校卒業後直ちに青年団に入団し、積極的に活動するとともに、地域の4Hクラブ結成に奔走いたしました。

さらに、地元青年団の会長となり、上部組織の会議や各種事業への参加は、家の農作業の従事者を半減させる結果となり、理解を示してくれました。

さらに、昭和三十二年北海道青年団協議会会長時代、「青年の像・飛翔」(制作者、竹中敏洋氏)の建立をさせていたしましたが、現在も青少年のシンボルとして雄々しくそびえ立っております姿を見るにつけ感銘深いものがあります。

さらに、昭和四十三年北海道百年を記念して、北海道中堅青年海外研修派遣事業を企画し、一月月のアメリカ視察研修へ行ってきましたが、その事前研修の場が道立青年の家でありました。

これまでの歩みと体験を通じ、次のことを私のライフスタイルとしています。

一、体を鍛えよう 若い時に積極的に体を鍛えておくことが大切です。現在の私の健康体は当時の生活環境もありましたが、進んで体を使い運動した賜物です。

二、人との出会いを大切に 沢山の方々の出会いと再会の喜び、感激は親子孫子の代までの触れ合いになり、心が豊かになります。

三、集団を鏡として参加する 相手を見るにつけ、自分の愚かさを感じます。集団(組織活動)に積極的に参加し、我が身を照らし研くことが大切なことだと思います。

四、人生は一步から・ステップバイステップ 人生疾風ののごく目的達成は困難です。干支「ウシ」のごく足元を固め一步一步と目

てくれた両親はじめ家族に対して大いに感謝したものです。

思い起こしますと、道立青年の家の建設時の昭和三十六年、音江村青年団協議会会長であった私は、工事着工が決定されたことを機に、静岡県御殿場市の国立中央青年の家に派遣され、貴重な研修をいたしました。

また、昭和四十二年北海道青年団協議会会長時代、「青年の像・飛翔」(制作者、竹中敏洋氏)の建立をさせていたしましたが、現在も青少年のシンボルとして雄々しくそびえ立っております姿を見るにつけ感銘深いものがあります。

さらに、昭和四十三年北海道百年を記念して、北海道中堅青年海外研修派遣事業を企画し、一月月のアメリカ視察研修へ行ってきましたが、その事前研修の場が道立青年の家でありました。

これまでの歩みと体験を通じ、次のことを私のライフスタイルとしています。

一、体を鍛えよう 若い時に積極的に体を鍛えておくことが大切です。現在の私の健康体は当時の生活環境もありましたが、進んで体を使い運動した賜物です。

二、人との出会いを大切に 沢山の方々の出会いと再会の喜び、感激は親子孫子の代までの触れ合いになり、心が豊かになります。

三、集団を鏡として参加する 相手を見るにつけ、自分の愚かさを感じます。集団(組織活動)に積極的に参加し、我が身を照らし研くことが大切なことだと思います。

四、人生は一步から・ステップバイステップ 人生疾風ののごく目的達成は困難です。干支「ウシ」のごく足元を固め一步一步と目

たつて、昭和四十三年北海道百年を記念して、北海道中堅青年海外研修派遣事業を企画し、一月月のアメリカ視察研修へ行ってきましたが、その事前研修の場が道立青年の家でありました。

これまでの歩みと体験を通じ、次のことを私のライフスタイルとしています。

一、体を鍛えよう 若い時に積極的に体を鍛えておくことが大切です。現在の私の健康体は当時の生活環境もありましたが、進んで体を使い運動した賜物です。

二、人との出会いを大切に 沢山の方々の出会いと再会の喜び、感激は親子孫子の代までの触れ合いになり、心が豊かになります。

三、集団を鏡として参加する 相手を見るにつけ、自分の愚かさを感じます。集団(組織活動)に積極的に参加し、我が身を照らし研くことが大切なことだと思います。

四、人生は一步から・ステップバイステップ 人生疾風ののごく目的達成は困難です。干支「ウシ」のごく足元を固め一步一步と目

てくれた両親はじめ家族に対して大いに感謝したものです。

思い起こしますと、道立青年の家の建設時の昭和三十六年、音江村青年団協議会会長であった私は、工事着工が決定されたことを機に、静岡県御殿場市の国立中央青年の家に派遣され、貴重な研修をいたしました。

また、昭和四十二年北海道青年団協議会会長時代、「青年の像・飛翔」(制作者、竹中敏洋氏)の建立をさせていたしましたが、現在も青少年のシンボルとして雄々しくそびえ立っております姿を見るにつけ感銘深いものがあります。

さらに、昭和四十三年北海道百年を記念して、北海道中堅青年海外研修派遣事業を企画し、一月月のアメリカ視察研修へ行ってきましたが、その事前研修の場が道立青年の家でありました。

これまでの歩みと体験を通じ、次のことを私のライフスタイルとしています。

一、体を鍛えよう 若い時に積極的に体を鍛えておくことが大切です。現在の私の健康体は当時の生活環境もありましたが、進んで体を使い運動した賜物です。

二、人との出会いを大切に 沢山の方々の出会いと再会の喜び、感激は親子孫子の代までの触れ合いになり、心が豊かになります。

三、集団を鏡として参加する 相手を見るにつけ、自分の愚かさを感じます。集団(組織活動)に積極的に参加し、我が身を照らし研くことが大切なことだと思います。

四、人生は一步から・ステップバイステップ 人生疾風ののごく目的達成は困難です。干支「ウシ」のごく足元を固め一步一步と目

たつて、昭和四十三年北海道百年を記念して、北海道中堅青年海外研修派遣事業を企画し、一月月のアメリカ視察研修へ行ってきましたが、その事前研修の場が道立青年の家でありました。

これまでの歩みと体験を通じ、次のことを私のライフスタイルとしています。

一、体を鍛えよう 若い時に積極的に体を鍛えておくことが大切です。現在の私の健康体は当時の生活環境もありましたが、進んで体を使い運動した賜物です。

二、人との出会いを大切に 沢山の方々の出会いと再会の喜び、感激は親子孫子の代までの触れ合いになり、心が豊かになります。

三、集団を鏡として参加する 相手を見るにつけ、自分の愚かさを感じます。集団(組織活動)に積極的に参加し、我が身を照らし研くことが大切なことだと思います。

四、人生は一步から・ステップバイステップ 人生疾風ののごく目的達成は困難です。干支「ウシ」のごく足元を固め一步一步と目

たつて、昭和四十三年北海道百年を記念して、北海道中堅青年海外研修派遣事業を企画し、一月月のアメリカ視察研修へ行ってきましたが、その事前研修の場が道立青年の家でありました。

これまでの歩みと体験を通じ、次のことを私のライフスタイルとしています。

一、体を鍛えよう 若い時に積極的に体を鍛えておくことが大切です。現在の私の健康体は当時の生活環境もありましたが、進んで体を使い運動した賜物です。

二、人との出会いを大切に 沢山の方々の出会いと再会の喜び、感激は親子孫子の代までの触れ合いになり、心が豊かになります。

三、集団を鏡として参加する 相手を見るにつけ、自分の愚かさを感じます。集団(組織活動)に積極的に参加し、我が身を照らし研くことが大切なことだと思います。

四、人生は一步から・ステップバイステップ 人生疾風ののごく目的達成は困難です。干支「ウシ」のごく足元を固め一步一步と目

たつて、昭和四十三年北海道百年を記念して、北海道中堅青年海外研修派遣事業を企画し、一月月のアメリカ視察研修へ行ってきましたが、その事前研修の場が道立青年の家でありました。

これまでの歩みと体験を通じ、次のことを私のライフスタイルとしています。

一、体を鍛えよう 若い時に積極的に体を鍛えておくことが大切です。現在の私の健康体は当時の生活環境もありましたが、進んで体を使い運動した賜物です。

二、人との出会いを大切に 沢山の方々の出会いと再会の喜び、感激は親子孫子の代までの触れ合いになり、心が豊かになります。

三、集団を鏡として参加する 相手を見るにつけ、自分の愚かさを感じます。集団(組織活動)に積極的に参加し、我が身を照らし研くことが大切なことだと思います。

四、人生は一步から・ステップバイステップ 人生疾風ののごく目的達成は困難です。干支「ウシ」のごく足元を固め一步一步と目

てくれた両親はじめ家族に対して大いに感謝したものです。

思い起こしますと、道立青年の家の建設時の昭和三十六年、音江村青年団協議会会長であった私は、工事着工が決定されたことを機に、静岡県御殿場市の国立中央青年の家に派遣され、貴重な研修をいたしました。

また、昭和四十二年北海道青年団協議会会長時代、「青年の像・飛翔」(制作者、竹中敏洋氏)の建立をさせていたしましたが、現在も青少年のシンボルとして雄々しくそびえ立っております姿を見るにつけ感銘深いものがあります。

さらに、昭和四十三年北海道百年を記念して、北海道中堅青年海外研修派遣事業を企画し、一月月のアメリカ視察研修へ行ってきましたが、その事前研修の場が道立青年の家でありました。

これまでの歩みと体験を通じ、次のことを私のライフスタイルとしています。

一、体を鍛えよう 若い時に積極的に体を鍛えておくことが大切です。現在の私の健康体は当時の生活環境もありましたが、進んで体を使い運動した賜物です。

二、人との出会いを大切に 沢山の方々の出会いと再会の喜び、感激は親子孫子の代までの触れ合いになり、心が豊かになります。

三、集団を鏡として参加する 相手を見るにつけ、自分の愚かさを感じます。集団(組織活動)に積極的に参加し、我が身を照らし研くことが大切なことだと思います。

四、人生は一步から・ステップバイステップ 人生疾風ののごく目的達成は困難です。干支「ウシ」のごく足元を固め一步一步と目

たつて、昭和四十三年北海道百年を記念して、北海道中堅青年海外研修派遣事業を企画し、一月月のアメリカ視察研修へ行ってきましたが、その事前研修の場が道立青年の家でありました。

これまでの歩みと体験を通じ、次のことを私のライフスタイルとしています。

一、体を鍛えよう 若い時に積極的に体を鍛えておくことが大切です。現在の私の健康体は当時の生活環境もありましたが、進んで体を使い運動した賜物です。

二、人との出会いを大切に 沢山の方々の出会いと再会の喜び、感激は親子孫子の代までの触れ合いになり、心が豊かになります。

三、集団を鏡として参加する 相手を見るにつけ、自分の愚かさを感じます。集団(組織活動)に積極的に参加し、我が身を照らし研くことが大切なことだと思います。

四、人生は一步から・ステップバイステップ 人生疾風ののごく目的達成は困難です。干支「ウシ」のごく足元を固め一步一步と目

たつて、昭和四十三年北海道百年を記念して、北海道中堅青年海外研修派遣事業を企画し、一月月のアメリカ視察研修へ行ってきましたが、その事前研修の場が道立青年の家でありました。

これまでの歩みと体験を通じ、次のことを私のライフスタイルとしています。

一、体を鍛えよう 若い時に積極的に体を鍛えておくことが大切です。現在の私の健康体は当時の生活環境もありましたが、進んで体を使い運動した賜物です。

二、人との出会いを大切に 沢山の方々の出会いと再会の喜び、感激は親子孫子の代までの触れ合いになり、心が豊かになります。

三、集団を鏡として参加する 相手を見るにつけ、自分の愚かさを感じます。集団(組織活動)に積極的に参加し、我が身を照らし研くことが大切なことだと思います。

四、人生は一步から・ステップバイステップ 人生疾風ののごく目的達成は困難です。干支「ウシ」のごく足元を固め一步一步と目

たつて、昭和四十三年北海道百年を記念して、北海道中堅青年海外研修派遣事業を企画し、一月月のアメリカ視察研修へ行ってきましたが、その事前研修の場が道立青年の家でありました。

これまでの歩みと体験を通じ、次のことを私のライフスタイルとしています。

一、体を鍛えよう 若い時に積極的に体を鍛えておくことが大切です。現在の私の健康体は当時の生活環境もありましたが、進んで体を使い運動した賜物です。

二、人との出会いを大切に 沢山の方々の出会いと再会の喜び、感激は親子孫子の代までの触れ合いになり、心が豊かになります。

三、集団を鏡として参加する 相手を見るにつけ、自分の愚かさを感じます。集団(組織活動)に積極的に参加し、我が身を照らし研くことが大切なことだと思います。

四、人生は一步から・ステップバイステップ 人生疾風ののごく目的達成は困難です。干支「ウシ」のごく足元を固め一步一步と目

21世紀にチャレンジする

南成建設株式会社

代表取締役 **稗田 寛**

本社 大分市新川町2丁目5番45号
電話 (0975) 33-2371番
FAX (0975) 38-2006番
営業所 福岡・熊本・宮崎

海水魚

大阪市立大学医学部附属病院
院長 **木下 博明** (大阪)

明けましておめでとうございませう。

昨年和歌山は毒入カレー事件など悪いニュースで有名になりましたが、和歌山にはまだまだ大自然がのこっています。昨年の不名誉を回復すべく西口勇知事自ら熊野古道を歩き、今年度の南紀熊野体験博の開催に力を入れていますが、和歌山は山が多く、広い海に面した県であります。その和歌山へ移り住んで二十三年になります。その頃から海釣りを始めた。海でのんびり竿を出すことは私にとってこのうえもなくストレス

解消法となったからです。しかし年々大学での仕事が多くなり、釣りの時間さえとれなくなりました。十年前から釣った魚を生かして持ち帰り、自宅の水槽で飼いはじめました。当初は魚の特性を知り、釣りの成果を上げることを目的としたが、そのうち魚を飼うこと自体が楽しみになりました。もともと高等学校まで和歌山ですごした私は、小学生の頃から川の魚や小鳥をつかまえてはそれを飼うのが好きであり、和歌山の自然に再び触れて、昔の血がさわいだらしたといえま

す。しかし海水魚を狭い水槽内で飼うには金魚などの淡水魚を飼うのはまったく異なる、初めうちは魚をかなり死においやった。それで水族館の職員にそのコツを聞いたり、本で勉強もしました。それによりますと海水の温度、pH、比重などは年間を通じてほとんど変化しないが、水槽内には有機物がたまりやすくて容易にそれらのバランスがくずれて、魚の住めない環境に陥るといふことです。そこで海水エアポンプで空気を送るのみならず、常時海水を水中ポンプで循環させ、大量のサンゴ砂を通して物理的および生化学的な濾過を行うことにしました。そのかいあって、今では魚の早死はなくなりましたが、やはり魚の生存は三年が限度であります。現在水槽に石鯛、真鯛、グレ、カワハギ、イサギなどがいるが、魚の種類によって病気に弱い魚、強いもの、気の小さい魚、人なつこいものなど様々であり、実に楽しく観

察しています。しかし春から夏にかけて水温があがるときに病気が起こりやすく、最も注意すべき時期です。魚の体調を判断するには食欲、泳ぎぶり、色をよく観察することが肝心で、人間を診察するよりも難しいが、早期発見、早期治療の必要性は人間の場合と同様です。

海岸には実に莫大な数の細菌が存在し、各々の役割に応じて海の浄化と恒常性の維持に与与していることを考えると、人間のつくった有機物で海を汚し、魚はもとよりこれら細菌を死滅させてはならないと思えます。

たつて、昭和四十三年北海道百年を記念して、北海道中堅青年海外研修派遣事業を企画し、一月月のアメリカ視察研修へ行ってきましたが、その事前研修の場が道立青年の家でありました。

これまでの歩みと体験を通じ、次のことを私のライフスタイルとしています。

一、体を鍛えよう 若い時に積極的に体を鍛えておくことが大切です。現在の私の健康体は当時の生活環境もありましたが、進んで体を使い運動した賜物です。

二、人との出会いを大切に 沢山の方々の出会いと再会の喜び、感激は親子孫子の代までの触れ合いになり、心が豊かになります。

三、集団を鏡として参加する 相手を見るにつけ、自分の愚かさを感じます。集団(組織活動)に積極的に参加し、我が身を照らし研くことが大切なことだと思います。

四、人生は一步から・ステップバイステップ 人生疾風ののごく目的達成は困難です。干支「ウシ」のごく足元を固め一步一步と目

たつて、昭和四十三年北海道百年を記念して、北海道中堅青年海外研修派遣事業を企画し、一月月のアメリカ視察研修へ行ってきましたが、その事前研修の場が道立青年の家でありました。

これまでの歩みと体験を通じ、次のことを私のライフスタイルとしています。

一、体を鍛えよう 若い時に積極的に体を鍛えておくことが大切です。現在の私の健康体は当時の生活環境もありましたが、進んで体を使い運動した賜物です。

二、人との出会いを大切に 沢山の方々の出会いと再会の喜び、感激は親子孫子の代までの触れ合いになり、心が豊かになります。

三、集団を鏡として参加する 相手を見るにつけ、自分の愚かさを感じます。集団(組織活動)に積極的に参加し、我が身を照らし研くことが大切なことだと思います。

四、人生は一步から・ステップバイステップ 人生疾風ののごく目的達成は困難です。干支「ウシ」のごく足元を固め一步一步と目

人生は長いようで短いもの



小田急電鉄(株) 専務取締役
(株)小田急百貨店 社長
利光 國夫 (東京)

我々昭和十三年の寅年生まれも、ついに昨年は還暦を迎えました。思えば、かつての若き日々、自分の還暦の姿など想像も出来ませんでした。が、今更やって実際にこの年になってみると改めて人生は長いようで短いものだなという感じがしみます。

現在、我が国は空前の大不況で、連日新聞をひらいてみるのがいやになる程景気の悪いニュースがあふれかえっています。人によっては、現在の我が国の危機的状態は、大東亜戦争の敗北、幕末から明治維新の頃の激動にも比すべき歴史的な転換期だとさえ云っている程ですが、それはどうも我々が社会人になってから初めて経験する様な波乱の時代

であるとは確かだと思えます。

ところで、歴史的な大事件というふうなものに直面したときに、その人が何者になっただろうかというところ、歴史そのものにとっても、歴史そのものにとってもかなり重大な意味があるのではないのでしょうか。

大東亜戦争の敗北という歴史的事件を、我々は十才位で経験した訳ですが、これより十年年令が上であつたら、我々の人生もかなり違つてい

たかも知れません。明治維新においても、あの大変革のきっかけとなったのは一八五三年のペリー黒船来航事件でしょう。この歴史的

婦唱夫随のすすめ



日本航空株式会社
社長 **兼子 勲** (東京)

皆様方におかれましては、還暦後最初の新春を無事迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

学友達の多くが定年を迎えることとなった最近、クラス会・同窓会など昔の仲間が集まる機会が多くなり、また出席率も良くなっていることは、いさぐとも同じかと思えます。

大学は、昭和三十五年卒業から「珊瑚会」と称し、食事も「ゴルフ・旅行・ディズニーランド行き」など良く集まる仲の良い仲間です。級友の一人が東京六大学で「東大を優勝させる会」という来世紀になつても実現しようもない会の会長なので、春秋のシーズン毎に総見と自称して神宮球場で揃いの珊瑚会名入り野球帽で応援もします。

私の小学校時代の仲間が集まる時、いつも中心的役割を担ってくれるのは「サ

文化をプロモートする人間産業



株式会社ホリプロ
社長 **小田 信吾** (三重)

初めまして、ホリプロの小田でございます。

文化をプロモートする「人間産業」と言うビジョンを背中にして、ひたすら大衆と共に歩むエンターテイメント創造企業として、走りつづけてまいりました。

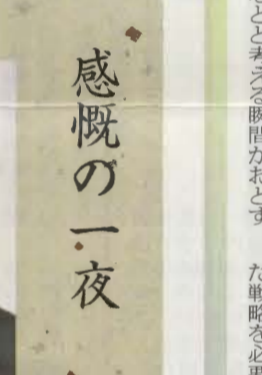
使う仕事でもありません。

我々の仕事のエンドマークは、大衆の感動を呼び出した時に迎えることが出来ます。

時代の流れを、的確に捉え、多角的な戦略で才能をプロモートしつづけてなければなりません。

これからの更に感動を創造し続け、大衆文化の向上に貢献したいと考えて居ります。

誠恐いほどの早さで、すぎ去っていく日々。時に時として、このままでいいのだろうか、もう少しゆっく



株式会社イトーヨーカ堂
取締役副社長 **佐藤 信武** (新潟)

感慨の一夜

そこは、ある東京湾埋立地の一角にそびえ立つ某ホテルの二十七階の一室である。

何となく、ほろ苦い。怒越しに夜空を見上げれば、水をきり取ったように鋭く細い、月が西方に傾いて

医療法人 五風会 さつぼろ香雪病院

理事長 院長 **森 一也**

〒062-0000 札幌市豊平区真栄319番地
TEL 011-884-6878 (代表)
FAX 011-884-6731

医療法人 とうようかい 桐葉会

精神・神経・内科・歯科 木島病院
精神障害者社会復帰施設
援護寮 コミュニティ・ヴィレッジ
通所授産施設 コミュニティ・プラザ
老人健康施設 コスモス楽寿苑

院長 **南 良武**
理事長

〒597-0044 大阪府貝塚市森892
TEL 0724-46-2158
FAX 0724-47-0600

医療法人 祥星会 聖ヶ丘病院

理事長 **田所 美佳**

〒788-0051 高知県宿毛市押ノ川1106
TEL 0880-63-2146 (代表)
FAX 0880-63-2432

医療法人 雄風会

理事長 **生長 豊健**

あしもり内科クリニック
〒701-1464 岡山市下足守1900-1
TEL 0862-95-1133 (代表)

加茂川診療所
〒709-2331 岡山県御津郡加茂川町
下加茂1402-8
TEL 08673-4-1661

近畿 幹事名

東海 幹事名

関東 幹事名

- 安部 栄治(兵庫・空港周辺整備機構理事)
金盛 弥(京都・大阪府副知事)
谷口 文夫(三重・大阪府監査委員室代表監査委員)
平峯 悠(京都・阪神高速道路公団理事)
岡田 正(大阪・大阪大学付属病院病院長)
木下 博明(大阪・大阪市立大学付属病院病院長)
高橋 隆(京都・京都大学医学部教授)
有本 雄美(兵庫・大阪ガス副社長)
宇小路 勝(東京・住友特殊金属副社長)
植松 高豊(静岡・光洋精工副社長)
大林 孝三(兵庫・フットワークインターナショナル社長)
大庭 康正(兵庫・日本触媒常務取締役)
河村 敏男(愛媛・T O A 取締役)
桑原 達朗(静岡・大阪製鉄取締役)
佐藤 雅夫(大阪・東映取締役)
田崎 征次郎(長崎・田崎真珠専務取締役)
竹内 秀夫(新潟・小林産業取締役)
高橋 國展(福井・山陽特殊製鋼専務取締役)
熱田 勝彦(和歌山・松下電工常務取締役)
池田 昭彦(滋賀・近畿コカ・コーラボトリング社長)
上田 裕章(大阪・乃村工業専務取締役)
尾崎 吉兵衛(大阪・トーマス専務取締役)
大嶋 進治(新潟・蝶理常務取締役)
大谷 貞彦(東京・富士車両専務取締役)
木藤 隆文(和歌山・バンドー化学常務取締役)
近地 欣司(埼玉・日本電建取締役)
住江 漢(兵庫・伊藤忠商事副社長)
田中 治(大阪・日立物流常務取締役)
高田 靖彦(岡山・阪那急電機専務取締役)
土田 博(山形・那須電機専務取締役)
筒井 房直(神奈川・大末建設副社長)
仲西 隆(奈良・南都銀行専務取締役)
花房 正次郎(兵庫・新井組専務取締役)
長谷川 善明(兵庫・新ニチカ常務取締役)
樋口 武男(兵庫・大和団地社長)
平戸 康弘(石川・吉本興業取締役)
本多 朗理(長崎・関西積和不動産社長)
宮武 健次郎(大阪・日本製薬専務取締役)
村上 謙一郎(岡山・清水建設専務取締役)
森本 征男(京都・住友倉庫常務取締役)
山本 勇(大阪・クラボウ常務取締役)
渡辺 洸(兵庫・アボウ工業取締役)
東郷 武(兵庫・大和ハウス工業副社長)
中川 義彦(千葉・ナイガイ常務取締役)
林 信幸(岩手・近畿通信建設社長)
浜端 謙三(長崎・日立造船常務取締役)
廣田 雅良(兵庫・ダイヘン専務取締役)
藤井 豊(兵庫・日本スピンドル製造取締役)
前川 速巳(山口・センコー取締役)
村井 繁信(大阪・関西電力取締役)
森崎 中(香川・日本ハム専務取締役)
山中 克己(大阪・ザ・バック常務取締役)
綿石 正博(広島・南海電気鉄道常務取締役)
※濱田 守久(高知・大阪経済倶楽部会長)

- 坪井 敏之(愛知・愛知県出納長)
大谷 勲(石川・岐阜大学医学部教授)
遠藤 司郎(山形・豊田自動織機製作所常務取締役)
小島 暎孝(三重・住友電装専務取締役)
田中 卓(岐阜・大同特殊鋼副社長)
福本 昌弘(大阪・伊藤商事常務取締役)
前川 哲郎(富山・セントラルファイナンス社長)
結城 司(茨城・愛知機械工業取締役)
加藤 千鷹(愛知・名古屋銀行頭取)
後藤 尚志(愛知・日新製鋼常務取締役)
西垣 博之(岐阜・大垣共立銀行取締役)
古川 治次(静岡・三菱商事常務取締役)
矢野 武(愛知・新東工業社長)
若林 忠(長野・豊田通商常務取締役)
濱田 守久(高知・大阪経済倶楽部会長)
※田口義嘉壽(岐阜・西濃運輸社長)

- 伊藤 博行(愛知・住宅金融公庫副総裁)
上野 博史(鹿児島・農林漁業信用基金理事)
鹿島 尚武(東京・住宅・都市整備公団副総裁)
河野 久(香川・参議院法制局法制次長)
坂本 吉弘(東京・日本エネルギー経済研究所理事)
瀬田 公和(山梨・環境衛生金融公庫理事)
丹波 實(旧外地・外務省外務審議官)
中神 靖雄(栃木・核燃料サイクル開発機構副理事長)
長瀬 要石(長野・海外経済協力基金副総裁)
黒川 高秀(大阪・日本医科大学教授)
相原 宏徳(神奈川・三菱商事副社長)
伊藤 元夫(石川・サッポロビール常務取締役)
石川 俊満(福岡・帝人常務取締役)
石岡 征也(北海道・ハザマ常務取締役)
石村 和清(東京・ヤマハ社長)
今井 隆文(静岡・清水建設常務取締役)
遠藤 茂治(兵庫・若菜建設専務取締役)
大野 耀也(滋賀・東レ専務取締役)
岡村 正(東京・東芝専務取締役)
兼子 勲(東京・日本航空社長)
青木 繁(東京・三菱地所常務取締役)
猪熊 研二(兵庫・新日本製鐵副社長)
磯山 隆夫(東京・東京海上火災保険副社長)
石橋 正(北海道・日立製作所常務取締役)
稲尾 勝三(神奈川・古河電気工業常務取締役)
榎本 恵一(大阪・ジャスコ専務取締役)
大山 薫介(石川・キユーピー専務取締役)
岡本 利明(熊本・旭化成工業専務取締役)
加藤 丈夫(東京・富士電機副社長)
金丸 隆充(大分・サンウェーブ工業社長)
川合 勝(東京・鹿島副社長)
佐藤 信武(新潟・イトーヨーカ堂副社長)
相楽 敏夫(東京・日本板硝子専務取締役)
角 忠夫(大阪・芝浦メカトロニクス社長)
田中 重穂(長野・三菱重工業常務取締役)
武田 悦則(大阪・日商岩井専務取締役)
高木 勝彦(岐阜・富士重工常務取締役)
谷口 正次(広島・太平洋セメント専務取締役)
土谷 広(兵庫・住友化学工業常務取締役)
遠山 智(兵庫・三菱自動車工業副社長)
中澤 忠正(長野・東京放送専務取締役)
南学 政明(栃木・三菱電機専務取締役)
七尾 忠(秋田・千代田生命保険専務取締役)
細谷 昌平(愛知・不動建設専務取締役)
前川日出夫(岡山・シチズン時計専務取締役)
衣笠 美弘(大阪・クボタ常務取締役)
佐々木基進(広島・コスモ石油専務取締役)
志賀 正毅(新潟・東急建設取締役)
田辺 信(大阪・日本信販専務取締役)
田部 正己(東京・第一生命保険専務取締役)
武岡 茂生(東京・大成建設常務取締役)
高橋 篤成(神奈川・クレディセゾン常務取締役)
鶴田 治樹(東京・高砂香料工業専務取締役)
利光 國夫(東京・小田急電機専務取締役)
土手 重治(高知・NKK副社長)
中野 利之(愛知・INAX専務取締役)
成川 浩一(東京・住友商事常務取締役)
福永 茂樹(鹿児島・クリナップ常務取締役)
真鍋 長久(福岡・明治乳業常務取締役)
正木 節(広島・三菱レイヨン専務取締役)
松井 正男(千葉・丸紅専務取締役)
水谷 哲(愛知・ダイキン工業専務取締役)
宮崎 文雄(奈良・鉄建建設常務取締役)
山本 貞一(石川・川崎製鉄副社長)
吉野 八郎(兵庫・マルエツ専務取締役)
吉田 満(大阪・銭高組常務取締役)
水越 浩士(東京・神戸製鋼所副社長)
浅 勝二(富山・石川島播磨重工業常務取締役)
茂木賢三郎(千葉・キッコーマン専務取締役)
吉崎 蓮一(神奈川・熊谷組専務取締役)
吉廣日出男(広島・明電舎専務取締役)
※濱田 守久(高知・大阪経済倶楽部会長)

新年例会

- 1月19日(火) 東海寅年会 18:30 名古屋観光ホテル
1月21日(木) 近畿寅年会 18:30 ホテル阪神
2月 9日(火) 関東寅年会 18:30 八重洲富士屋ホテル

●寅年会昼食会(トラメシ会)のご案内●

関東寅年会では、奇数月の第2木曜日に、八重洲富士屋ホテルで昼食会を設けております。ぜひ、上京の節は一度ご参加下さい。

名称 昭和13年寅年会昼食会(トラメシ会)
場所 東京中央区八重洲富士屋ホテル
日時 奇数月の第2木曜日 Am11:30~Pm1:30 (食事は12時より)
参加資格 全国寅年会メンバー及び同伴者
費用 6,000円(食事代、飲物、その他)
連絡先 八重洲富士屋ホテル営業部販売企画課 宇都野さん TEL03-3273-0220(直通)

この会の構成

国会議員、省庁部長以上、都、道、府、県、市(市は衛星都市含まず)部長以上、上場企業役員、団体役員、大学は医学部教授。
※この会は一度例会に出席されますと、永久に資格を得ることになります。
入会金は頂いておりません。
この回を運営維持していくため、維持費として年間¥10,000を頂いております。ぜひご協力の程、よろしくお願いいたします。

- 振込先
◎関東寅年会
東京三菱銀行大阪支店(店 No. 520)
普通預金口座 No. 0597003
名義 関東昭和13年寅年会 幹事 濱田守久
◎東海寅年会
東海銀行本店営業部
普通預金口座 No. 3386543
名義 東海昭和13年寅年会 幹事 田口義嘉壽
◎近畿寅年会
東京三菱銀行大阪支店(店 No. 520)
普通預金口座 No. 0401951
名義 近畿昭和13年寅年会 幹事 濱田守久

平成10年度 収支明細

Table with 3 columns: Category, Amount, Total. Includes sections for Income (収入の部) and Expenses (支出の部) with sub-categories like maintenance fees, printing, and communication.



新たなる飛躍を願いつつ
チャレンジする企業

関西創経株式会社
代表取締役社長 西村政伸

〒672-8051 姫路市飾磨区清水2-103 高島ビル102号
TEL (0792) 33-8580(代) FAX (0792) 33-8581

新年のごあいさつ



外務省外務審議官
丹波 實 (旧外地)

明けましておめでとうございませう。昨年、平成十年は私たちが昭和十三年寅年生まれの年男、年女であったわけですが、還暦の年も何年かとおりの全力で走り抜けてきました。あっと言う間にまた新たな年を迎えることに相成っていました。

役人の同期寅年の方々は殆ど退官されてしまいました。たし、一昔前なら我々は還暦を迎えること(意に反して)「悠々自適」の生活を強いられたものですが、有難いことに私はまだ最初に入った職場で現役で頑張らせて頂いております。過ぎし平成十年には海外出張が二十回、一年の約三分の一を海外で過ごしました。幸か不幸か今しばらくは現役でいるようですので、平成十一年も多分同じようなペースで仕事を続けることになる見とおしがあります。過労を気にしつつ、腰痛をだしましたし、体には気がつけず、やっというこう思う次第です。



身辺雑記



住宅金融公庫副総裁
伊藤 博行 (愛知)

一、最近娘が結婚した。二人の子供のうち、長男は既に結婚し独立している。我が家も妻との二人だけの生活となった。子育てを終えた後の、えもいわれぬ感じを実感しつつの今日この頃である。この会のメンバー全てがそうであるように、私も昭和十三年生まれの寅年であり、昨年還暦を迎えた身であるが、このよ

ご挨拶



大阪府副知事
金盛 弥 (京都)

寅年会の皆様には、お健やかに平成十一年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

我が国は、今「右肩上がり」の時代を終え、依然景気回復の道筋が確かなものとならない経済状況にあって、いかにこれからの針路を定めるかというまさに変革の時期にあります。大阪府政を取り巻く環境も然りであり、低迷する景気

受け中国大陸にいた。その後太平洋戦争に突入し、戦局の悪化・本土決戦の動きとなったため田舎に疎開、国民学校に入學(昭和十九年)し、小国民としての教育を受ける。しかし、残念ながら敗戦。その後の教科書は貸与時に教師の指示に従い墨で消しつつ編集したものを使用。また「民主主義」という言葉もこの時期に習う。その後父の復員に伴い名古屋に戻る。この時期は今振り返っても、物質は不足していたが気分的には明るい生活であったように思う。道路予定地で自家製のグローブ、ボールを用いて草野球をしたり、アメリカ3Aクラスのサンフランシスコ・シールズ軍が来日し名古屋駅頭でオードール監督に名古屋の野球少年を代表して花束を贈ったの

も楽しい思い出である。その後の新制中学、高校時代には、経済的には相変わらず厳しい環境であったが伸び伸びとした青春時代であったように思う。

三、経済白書が、もはや戦後ではない」とした昭和三十一年に大学に入り上京して以来今日まで東京を中心とした生活であるが、この部分はまさに日本経済の発展を目的にきた感がある。昭和三十五年に大学を卒業し役人生活(大蔵省)にはいったが、池田内閣の所得増進計画をスター

トに経済は成長を加速、経済・金融の国際化(IMF 8条国移行、資本自由化など)、ドル・ショック、第一次・第二次石油ショックを乗り切った。経済大国への途、そしてパブルの発生とその崩壊。全く歴史のこれほど大きな変化は今振り返っても驚くばかりである。

四、さて、これからの日本、そして我々、寅年生まれの人々の歩みはどのようなものになるか。新たな世紀を迎える時、いい方向への変化を心から期待したいものである。



への歩みを着実なものにしてまいりたいと考えております。確かに、府の財政は逼迫しておりますが、大阪府はオランダ一國に匹敵する経済力や豊かな文化・歴史の集積、さらには関西国際空港や海に拓けたベイエリアなど極めて高い都市ポテンシャルを有しています。また首都圏と両極を成す関西圏の中において、地理的にも交通ネットワーク上の要に位置する大阪は、関西圏の人・物・情報の交流を促進する中心的な役割を担っていく必要があると、大きな転換期からいそ、大阪は時代を先導するためこれまで以上にその役割を發揮しなければなりません。持てる都市ポテンシャルを十二分に生かし、「一人・一人・情報」の交流基盤づくり、「陸・海・空」の広域的な交通ネットワークの形成「安全

で安心できるまちづくり」の三つの視点に立った施策の展開に努め、単に財政再建にとどまらず、大阪経済の活性化や関西全体の活力を一層高揚させることのできるような取組を進めてまいりたいと考えております。

一昔前なら、華甲を祝われた私どもは、好々爺然として穏やかな余生を過ごすことができたのですが、今日では六十歳といいますが、いよいよこれからという感すらあります。新年を迎え、気持ちも新たに力

顧問	問 佐藤 道夫	参議院議員 (元札幌高等検察庁 検事長)
顧問	問 緒方 重威	(前広島高等検察庁 検事長)
名誉会長	吉永 祐介	(元最高検察庁 検事総長)
弁護士	大 濱田 守久	(大阪経済倶楽部)
専務理事	大 山 満根	(立和産業株式会社代表取締役)
専務理事	嶋 津 島利	(共立商事株式会社代表取締役)
専務理事	松 川 明司	(大願グループオーナー)
専務理事	田 淵 亨	(大阪経済倶楽部)
専務理事	作 山 一利	(株式会社アーキ代表取締役会長)
専務理事	岡 田 一男	(大神陸送株式会社代表取締役)
専務理事	菊 田 博士	(メトロ観光株式会社代表取締役社長)
専務理事	山 根 三郎	(株式会社日達代表取締役)
専務理事	神 田 寛	(南成建設株式会社代表取締役)
専務理事	一 博	(大願クラッシュプラント株式会社代表取締役)
専務理事	木 下 孝實	(大阪経済倶楽部)